

2 市町別人口

(1) 総人口

推計人口を市町別にみると、浜松市が783,573人で最も多く、次いで静岡市の683,358人と続き、この両市で県人口の41.0%を占めている。

前年に比べ人口が増加したのは3市町で、増加数は袋井市の481人が最も多く、増加率でも袋井市の0.55%が最も高くなっている。

一方、人口が減少したのは32市町で、減少数は静岡市の5,267人が最も多く、減少率では川根本町の3.35%が最も高くなっている。

図 7 市町別人口増減率（令和4年10月1日現在 対前年比）

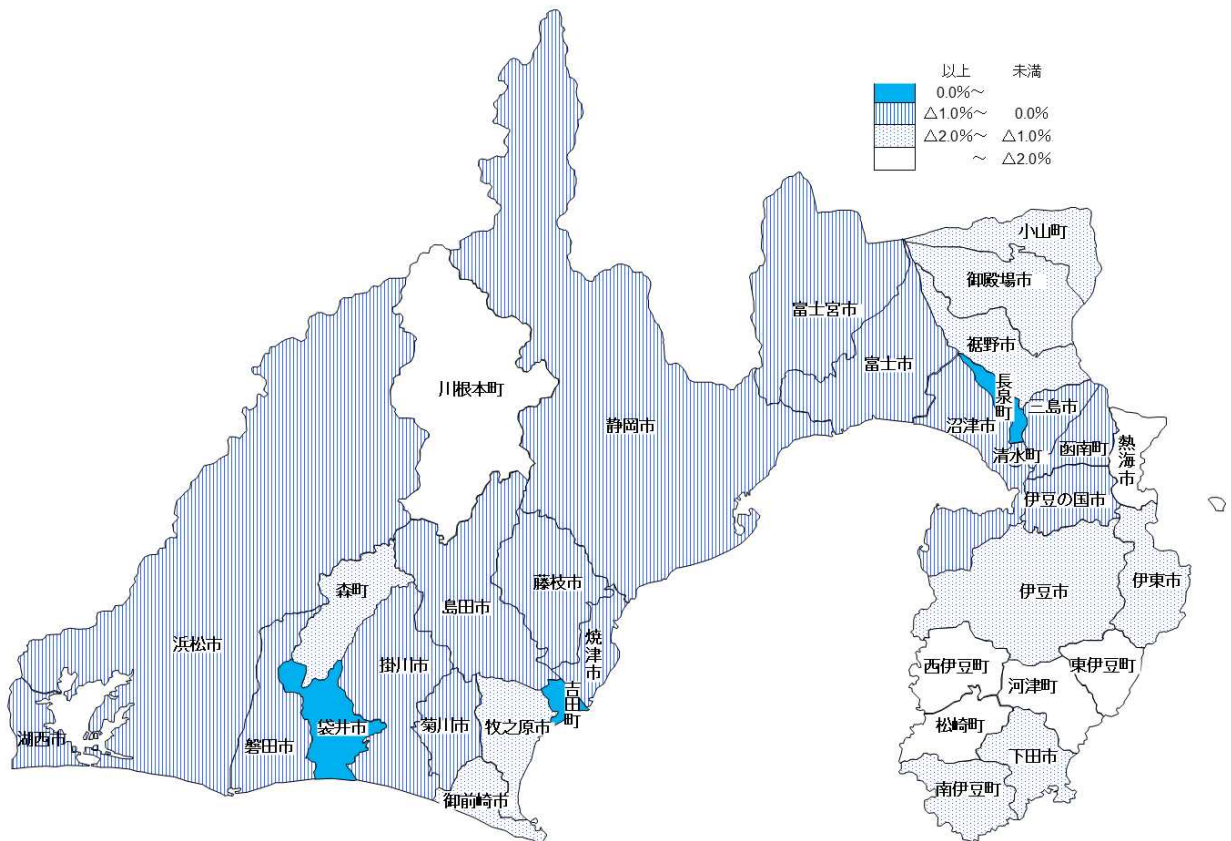


表 3 人口増減の大きい市町

増加数(人)				増加率(%)				順位	減少数(人)				順位	減少率(%)			
1	袋井市	481	-	1	袋井市	0.55	-	1	静岡市	5,267	1	1	川根本町	3.35	1		
2	長泉町	55	-	2	吉田町	0.129	-	2	浜松市	3,214	2	2	西伊豆町	3.01	3		
3	吉田町	37	-	3	長泉町	0.127	-	3	沼津市	1,714	3	3	松崎町	3.00	2		
								4	富士市	1,420	4	4	河津町	2.18	5		
								5	御殿場市	1,234	7	5	熱海市	2.10	4		
								6	藤枝市	1,064	18	6	東伊豆町	2.03	11		
								7	磐田市	1,023	8	7	下田市	1.98	6		
								8	三島市	1,000	13	8	南伊豆町	1.61	7		
								9	富士宮市	749	5	9	伊豆市	1.49	13		
								10	伊東市	733	14	10	森町	1.48	9		

※当年増加市町数 3
 ※前年増加市町数 0

(注) 内の数字は前年の順位(「-」は減から増へ変化)

(2) 自然動態

前年に比べ自然動態が増加した市町はなく、人口が減少した35市町のうちで、減少数は静岡市が4,858人で最も多く、減少率では西伊豆町が2.40%で最も高くなっている。

表 4 自然増減の大きい市町

順位	増加数(人)	順位	増加率(%)	順位	減少数(人)	順位	減少率(%)
				1	静岡市	4,858	1
				2	浜松市	3,847	2
				3	沼津市	1,757	3
				4	富士市	1,374	4
				5	伊東市	1,032	5
				6	磐田市	937	7
				7	藤枝市	885	9
				8	富士宮市	865	8
				9	焼津市	843	6
				10	熱海市	721	10

※当年増加市町数 0
 ※前年増加市町数 1

(注) 内の数字は前年の順位

(3) 社会動態

17市町で増加し、増加数は袋井市が677人で最も多く、増加率も袋井市が0.77%で最も高くなっている。一方、17市町で減少となり、減少数は御殿場市が888人で最も多く、減少率では川根本町が1.12%で最も高くなっている。なお、1町は増減がなかった。

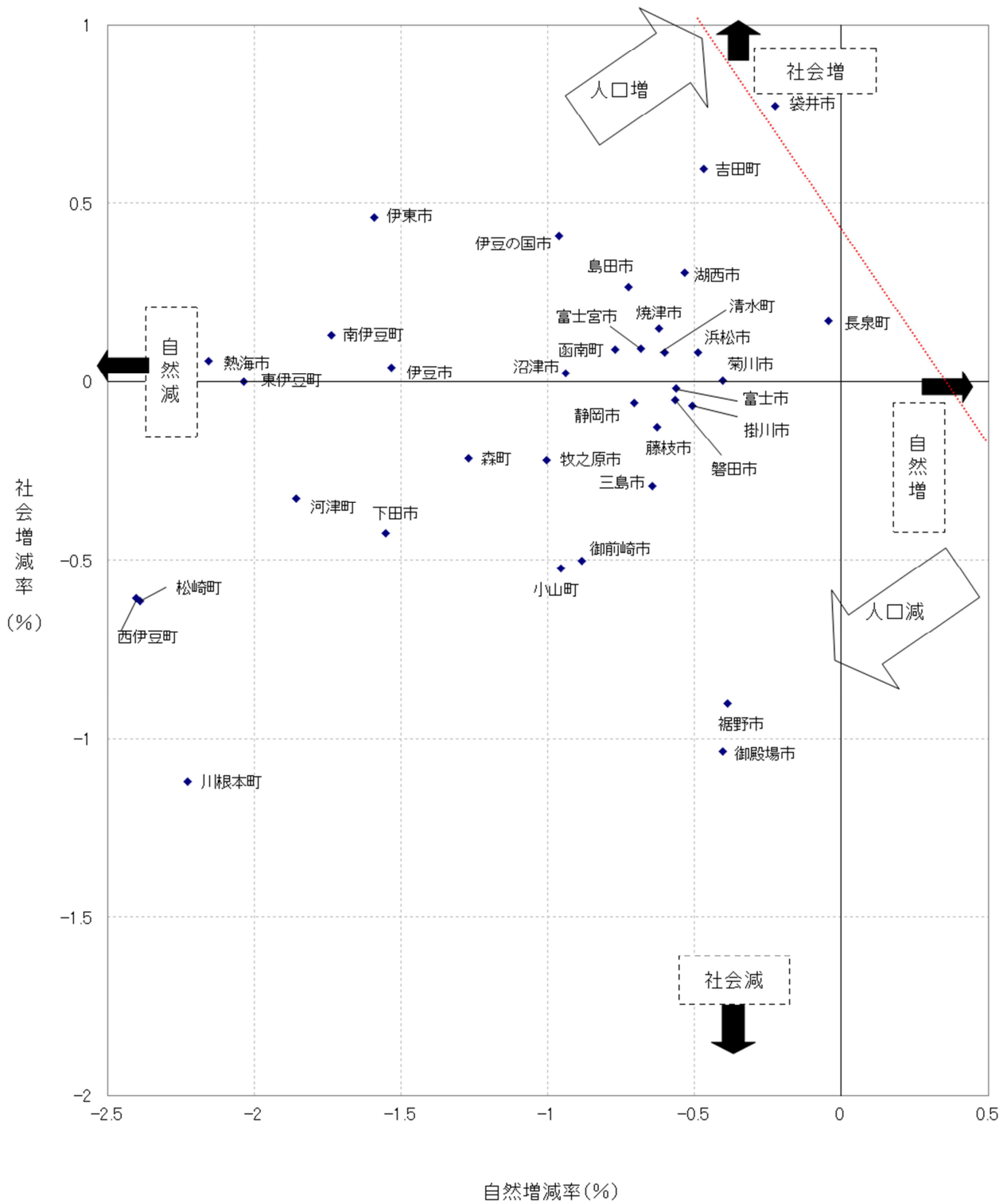
表 5 社会増減の大きい市町

順位	増加数(人)	順位	増加率(%)	順位	減少数(人)	順位	減少率(%)
1	袋井市	677	4	1	袋井市	0.77	6
2	浜松市	633	-	2	裾野市	453	2
3	伊東市	299	1	3	静岡市	409	3
4	島田市	251	-	4	三島市	312	15
5	焼津市	200	-	5	藤枝市	179	-
6	伊豆の国市	189	-	6	御前崎市	153	5
7	湖西市	175	-	7	小山町	96	24
8	吉田町	171	-	8	牧之原市	94	7
9	富士宮市	116	-	9	磐田市	86	14
10	長泉町	73	-	10	下田市	84	19

※当年増加市町数 17
 ※前年増加市町数 17

(注) 内の数字は前年の順位(「-」は減から増、増から減へ変化)

図 8 自然・社会増減率による市町の分布



(4) 年齢構成

年齢3区分別の構成割合をみると、年少人口割合が最も高いのは長泉町の15.53%、最も低いのは熱海市の5.58%で、その差は9.95ポイントとなっている。

生産年齢人口割合が最も高いのは長泉町の61.77%、最も低いのは西伊豆町の41.02%で、その差は20.75ポイントとなっている。

老年人口割合が最も高いのは西伊豆町の53.27%、最も低いのは長泉町の22.70%で、その差は30.57ポイントとなっている。

表 6 市町別年齢構成割合

(1) 上位10市町

(単位:%)

順位	年少人口		順位	生産年齢人口		順位	老年人口				
1	長泉町	15.53	1	1	長泉町	61.77	1	1	西伊豆町	53.27	1
2	袋井市	14.10	2	2	吉田町	61.30	2	2	川根本町	51.33	2
3	菊川市	13.65	3	3	清水町	60.94	3	3	松崎町	50.59	3
4	掛川市	13.37	4	4	御殿場市	60.72	4	4	南伊豆町	50.37	4
5	裾野市	12.81	5	5	袋井市	60.62	5	5	熱海市	49.16	5
6	磐田市	12.70	6	6	湖西市	59.88	6	6	東伊豆町	48.97	6
7	浜松市	12.55	8	7	裾野市	58.86	7	7	伊東市	44.34	7
8	御殿場市	12.542	7	8	富士市	58.73	8	8	河津町	43.93	9
9	藤枝市	12.541	9	9	浜松市	58.54	9	9	伊豆市	43.60	8
10	島田市	12.33	11	10	菊川市	58.45	10	10	下田市	43.21	10

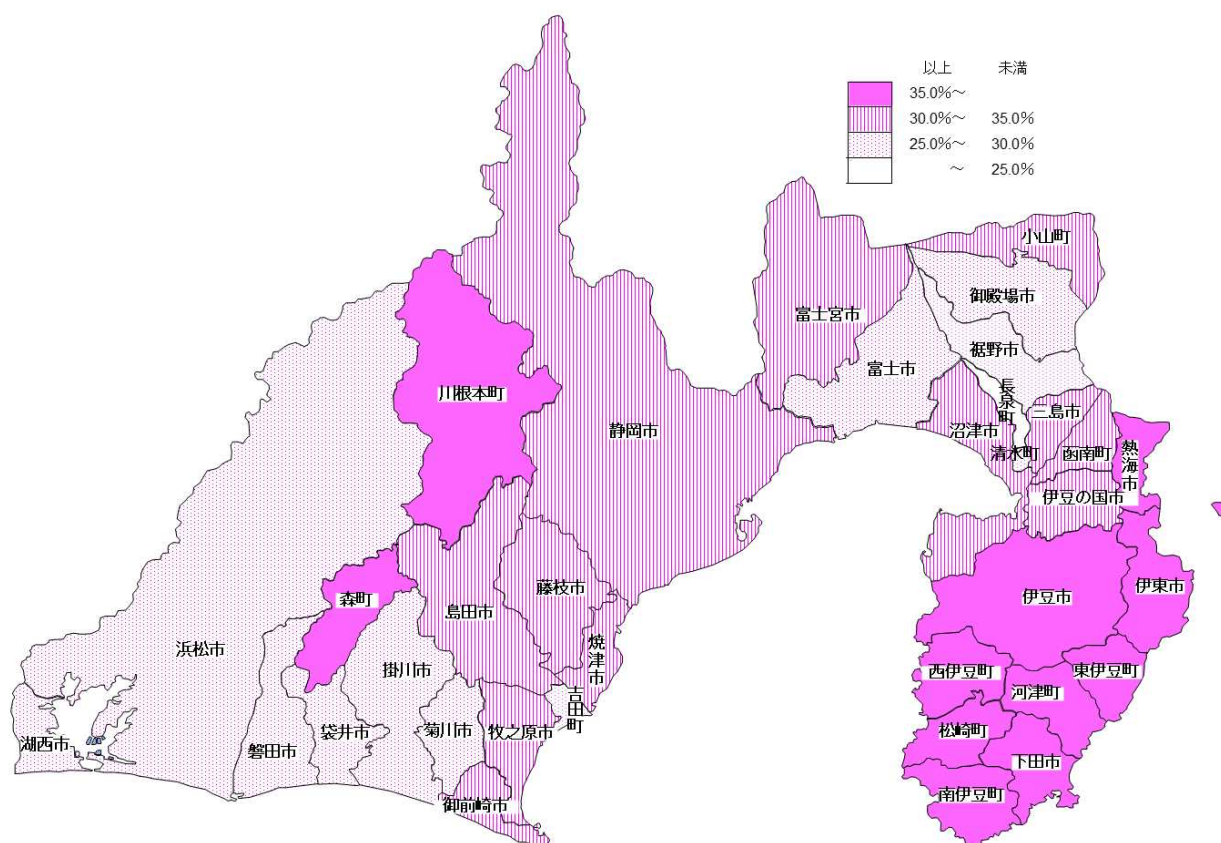
(2) 下位10市町

(単位:%)

順位	年少人口		順位	生産年齢人口		順位	老年人口				
1	熱海市	5.58	1	1	西伊豆町	41.02	1	1	長泉町	22.70	1
2	西伊豆町	5.71	2	2	南伊豆町	41.77	2	2	袋井市	25.28	2
3	東伊豆町	5.97	3	3	川根本町	42.40	4	3	吉田町	26.70	5
4	川根本町	6.27	4	4	松崎町	42.67	3	4	御殿場市	26.74	3
5	松崎町	6.74	5	5	東伊豆町	45.05	6	5	清水町	26.75	4
6	南伊豆町	7.86	6	6	熱海市	45.26	5	6	菊川市	27.90	6
7	伊東市	7.94	8	7	伊東市	47.72	7	7	裾野市	28.33	7
8	伊豆市	8.02	7	8	河津町	47.75	8	8	湖西市	28.64	8
9	下田市	8.10	9	9	伊豆市	48.38	9	9	浜松市	28.91	10
10	河津町	8.32	10	10	下田市	48.69	10	10	掛川市	28.94	9

(注) ■内の数字は前年の順位

図 9 市町別老年人口割合（令和 4 年 10 月 1 日現在）



(5) 平均年齢

表 7 市町別平均年齢

(単位:歳)

平均年齢が最も高いのは、西伊豆町の 60.86 歳、最も低いのは長泉町の 44.34 歳で、その差は 16.52 歳となっている。

順位	高い市町	順位	低い市町
1	西伊豆町 60.86	1	長泉町 44.34
2	川根本町 60.64	2	袋井市 45.42
3	松崎町 59.93	3	菊川市 46.64
4	熱海市 59.40	4	御殿場市 46.83
5	東伊豆町 59.15	5	吉田町 46.89
6	南伊豆町 58.95	6	清水町 47.32
7	伊東市 56.52	7	裾野市 47.45
8	下田市 56.31	8	掛川市 47.66
9	伊豆市 56.23	9	浜松市 47.98
10	河津町 56.22	10	磐田市 47.99

(注) 内の数字は前年の順位

3 地域圏別年齢構成割合

令和4年10月1日現在の年齢3区分別の構成割合を地域圏別にみると、年少人口割合が最も高いのは「西部地域」の12.69%、最も低いのは「伊豆半島地域」の9.59%となっている。

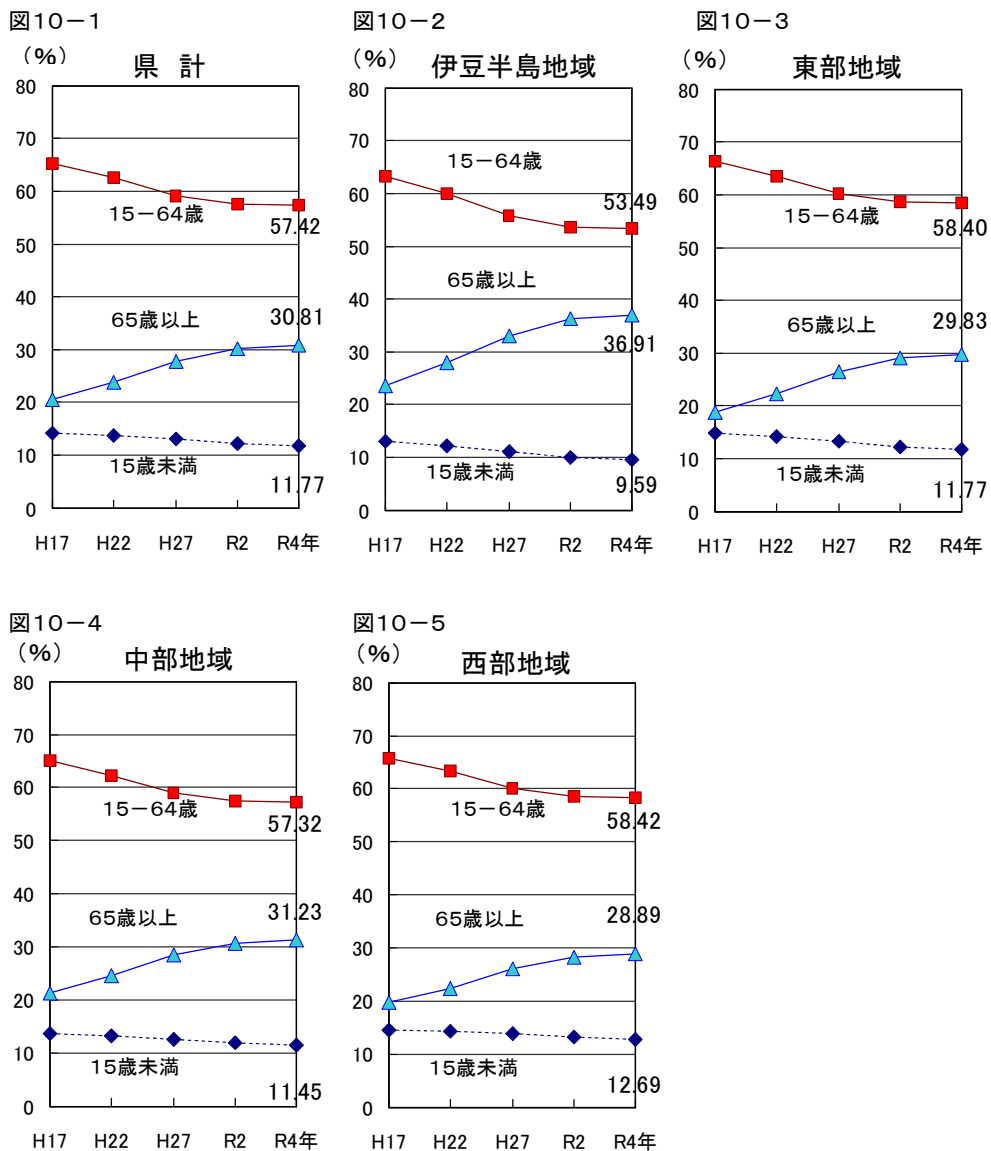
生産年齢人口割合が最も高いのは「西部地域」の58.42%、最も低いのは「伊豆半島地域」の53.49%となっている。

老年人口割合が最も高いのは「伊豆半島地域」の36.91%、最も低いのは「西部地域」の28.89%となっている。

また、老年人口割合を平成17年国勢調査時と比べると、「伊豆半島地域」は13.25ポイント増、「東部地域」は11.03ポイント増、「中部地域」は10.00ポイント増、「西部地域」は9.20ポイント増となっている。

なお、県全体では10.24ポイント増となっている。

図10 地域圏別年齢構成割合の推移



各市町ごとのグラフは統計表に掲載。

4 外国人人口

(1) 総人口

令和4年10月1日現在の本県の外国人人口は、91,368人で前年に比べ5,923人増加し、増加率は6.93%となっている。

男女別にみると、男44,646人、女46,722人で、性比は95.56となっている。

本県の総人口に占める割合は、2.55%で、前年より0.18ポイント増加した。

表 8 外国人人口の推移

年	外国人推計人口(人)			総数の増減率(%)	総人口に占める割合(%)
	総数	男	女		
30年	74,766	36,102	38,664	8.69	2.04
元年	82,785	40,688	42,097	10.73	2.27
2年	86,046	41,902	44,144	3.94	2.37
3年	85,445	41,535	43,910	-0.70	2.37
4年	91,368	44,646	46,722	6.93	2.55

令和2年の人口は、国勢調査の確定値

※外国人人口には国籍不明の者は含まない。

(2) 市町別人口

外国人人口は、浜松市の23,361人が最も多く、外国人人口全体の25.57%を占めている。

前年に比べ外国人人口が増加したのは34市町で、増加数では浜松市の1,156人が最も多くなっている。

一方、前年に比べ減少した市町は松崎町の1町のみで、減少数は2人となっている。

また地域圏ごとの総人口に占める外国人の割合は、西部地域で高くなっている。

表 9 市町別外国人人口

順位	外国人人口(人)		市町各総人口に占める割合(%)		増加数(人)		減少数(人)			
1	浜松市	23,361	1	菊川市	7.45	1	浜松市	1,156	松崎町	2
2	静岡市	10,016	2	吉田町	6.89	2	袋井市	666		
3	磐田市	7,751	3	湖西市	6.19	3	富士宮市	385		
4	富士市	5,209	4	袋井市	5.65	4	沼津市	357		
5	袋井市	4,983	6	牧之原市	4.84	6	焼津市	349		

(注) 内の数字は前年の順位

図 1 1 市町別外国人人口割合（令和 4 年 10 月 1 日現在）

